

時間割番号:

統計学 A

担当教員

得田 雅章[Masaaki Tokuda]

開講学部等	経済学部	対象年次		単位数	2
開講時期	春学期	開講曜時	火1・木1	クラス	① ②

授業の目的と概要

本学経済学部生として最低限知っておいてほしい統計知識、統計手法の習得が本講義の目的です。主なトピックとして「データとは」、「代表値」、「確率の基礎」、「確率変数と確率分布」を講義します。

学習のペース配分を図るため、および実践的な問題解法を習得するために、受講生は「コアセッション」を併せて受講することを強く推奨します。数学の苦手な学生はさらに「分析ツール」を受講すると良いでしょう。

授業の到達目標

- ①データの整理、②代表値、③確率、④確率変数と確率分布、⑤期待値・分散の基本的考えを理解すること。
- 統計的記述（記述統計）の諸理論を確実に理解し、統計学Bで学習する統計的推論（推測統計）に関する諸理論習得の下地を作成すること。コア科目である統計学A・Bを受講することで得られる統計学の見識は、応用統計学や数理統計学、計量経済学といったより発展的な科目で活かされるでしょう。
- 関数電卓を活用し、統計学に関わる諸計算を効率的に行えるようになること。

授業計画

第1回：イントロダクション

第2回：データの整理

第3回：代表値（1）

第4回：代表値（2）

第5回：代表値（3）

第6回：代表値（4）、確率（1）

第7回：確率（2）

第8回：確率（3）

第9回：確率（4）

第10回：確率変数・確率分布（1）

第11回：確率変数・確率分布（2）

第12回：確率変数・確率分布（3）

第13回：確率変数・確率分布（4）

※ このスケジュールはあくまでも予定であり、適時修正される可能性がある。毎回の講義およびSulmsで確認してください。

授業計画の補足（事前学習・事後学習など授業時間外の学習、参考資料など）

なぜ統計学を学ぶのか？その意義を自分なりに見出し、学習に対するモチベーションを高めていきましょう！

積極的な学習態度は有意義な学生生活に結びつき、自ずと成績にもつながります。

講義連絡や各種情報のやり取りにはSulmsを活用します。

成績評価の方法

期末試験で評価します。

成績評価の基準

成績は期末試験の点数のみでつけます。

教科書

教科書1	ISBN	464116455X			
	書名	基本統計学 第4版			

	著者名	宮川公男 著,	出版社	有斐閣	出版年	2015
--	-----	---------	-----	-----	-----	------

参考書

参考書1	ISBN	4061539957				
	書名	穴埋め式統計数理らくらくワークブック				
	著者名	藤田岳彦 監修,黒住英司 著,	出版社	講談社	出版年	2003

参考書2	ISBN					
	書名	講義資料 (A・B共通、非売品)				
	著者名		出版社		出版年	

教材に関する補足情報

1. 非売品「統計学A・B講義資料」を必ず持参してください。

入手法は以下の2通りです。

- ・Sulmsからダウンロードし各自プリントアウト
- ・生協でテキストを購入するとオマケで1冊もらえる

2. 関数電卓を持参すること

通常の電卓では解けない(計算に時間がかかる)ような問題が出ます。最安機種で構わないので準備し、操作法に慣れておくように。講義ではCanon F-605Gを念頭に操作法を解説します。

(※期末試験では関数電卓を活用すべき問題を出题します)

参考文献一覧

基本は上記教科書、参考書、講義資料、それと関数電卓です。それ以外の文献等が必要な場合は適時講義中に指示します。

履修上の注意事項

- ・数多くの問題を解きましょう。

問題を自分で解かずして理解が深まることはない(従ってコアセッションは極力受講すること)。

- ・コアセッションさえ出ているれば大丈夫という考えは持たないように。

コアセッションはあくまでも講義を補完するものです。コアセッションだけ出席していても真の理解は深まりません。

- ・わからないことをそのままにしない。

統計学A(その後に続く統計学B)は完全な積み上げ式です。わからないことをそのままにしておくと、さらにわからなくなります。学習支援室に行きTA・SAに質問するなどして、わからないことは早期に解決するように(試験は一夜漬けで何とかするような難易度ではありません)。

- ・講義資料だけで全てを理解しようとしなない。

資料はあくまでも補足的なものであるから、教科書とセットで活用すること。

- ・Sulmsを有効に活用してください。

講義資料の完全版(赤入り)はSulmsから順次ダウンロードできるようになっています。欠席した者やノートテイキングに間に合わなかった者は活用するように。

- ・プロジェクター or 板書で細かな文字・数字を扱います。席は前の方がベターでしょう。
- ・関数電卓を購入し、持参してください(試験は関数電卓持ち込み可であり、ないと解けない問題が出ます)。

キーワード(「実務経験のある教員による授業科目」は「実務経験」で検索)

統計 確率 データ

備考(実務経験の内容と授業との関連を含む)

本講義はクラス分けを行っています。

火曜1限は原則「経済学科」・「ファイナンス学科」・「情報管理学科」が対象です。

必修科目と重複した場合等の事情がある場合、教員(得田)に書面(書式自由)で申し出たうえで学生自身が教育支援システム(SUCCESS)で別のクラスに変更できます。

参照ホームページ

Sulms

<https://moodle.shiga-u.ac.jp/home/>

■■ 教員からの一言

■■ オフィスアワー

火曜日の昼休み（12：00～12：50）

■■ 連絡先（研究室他）

402B室

■■ 連絡先（電話番号）

■■ 連絡先（メールアドレス）

m-tokuda@biwako.shiga-u.ac.jp

■■ ホームページ

<http://www.biwako.shiga-u.ac.jp/sensei/m-tokuda/>

■■ 備考（教員情報）

電子メールにて